

チャレンジ支援推進地域事業研究報告書

滋賀県

1. チャレンジ支援推進地域事業の全体像	(事業名) チャレンジネットワーク整備・推進事業 (ネットワーク等全体像) 別紙 1 (ネットワーク参加機関) 別紙 2 (事業の経過および概要) 別紙 3 ネットワーク構築にあたって、工夫した点 県庁内ワーキンググループ(以下「庁内WG」という)において事前の調整を行ったうえで、女性のチャレンジ支援連絡会議構成機関(以下「構成機関」という)に参加を呼びかけた。 機動的に動きやすい構成機関数となるよう留意した。特に起業、地域活動など再チャレンジ関係を重視した構成とした。 構成機関への十分な事前説明を行うとともに、第1回連絡会議で女性のチャレンジ支援の必要性や男女共同参画の視点等について理解を深めた。 各事業(講座、シンポジウム、フォーラム等)実施の際は、構成機関から意見聴取し、情報の提供等を受けるとともに、広報の協力を得るなど連携に留意しつつ事業を進めた。
2. 女性のチャレンジ支援関係事業	(1) チャレンジサイトの制作 連携機関: 女性のチャレンジ支援連絡会議構成機関、庁内WG 事業内容: チャレンジ関連情報の一元化を図るため、ITによる情報提供環境の整備を図った。(チャレンジサイトしがの開設) サイトの制作にあたっては、構成機関等から全体構成に対する意見の聴取や情報の提供を受けるとともに、ロールモデルの推薦などの協力を得た。 http://www.pref.shiga.jp/c/challenge/ (2) 女性のチャレンジ支援講座の実施 連携機関: (財)21世紀職業財団、滋賀県商工会連合会、(財)滋賀県産業支援プラザ、滋賀県農業技術振興センター 事業内容: 別紙4のとおり、6講座を開講した。このうち、3講座で連携機関から講師や助言者として参加いただくなどの協力を得た。各講座で質疑応答の時間を設けたが、連携機関から説明等を加えてもらうことにより、タイムリーな情報の提供ができるとともに、専門的な分野にも対応できた。 (3) 男女共同参画県民提案事業 連携機関: 県庁県民文化課(NPO所管)、(財)淡海文化振興財団 事業内容: フォーラムや講座等の事業をNPOから公募し(7プランの応募があり、うち2プランを採択)、実施した。 「子育てサポーター養成講座」 「いきいき毎日応援講座」 事業の実施にあたっては、NPO向けの募集の案内や事業説明会を連携機関と共同で実施した。

2. 女性のチャレンジ支援関係事業	(4) チャレンジシンポジウムの開催 連携機関：チャレンジ支援連絡会議構成機関、および京都府、奈良県、兵庫県など 事業内容：女性のチャレンジの必要性、有効性等を学ぶためのシンポジウム（基調講演、パネルディスカッション）の開催に併せ、パネル展示を実施した。 内閣府、京都府、奈良県、兵庫県などによるパネルの出版を得て、充実した情報の提供ができた。 (5) 女性のチャレンジ支援フォーラムの開催 連携機関：市町男女共同参画担当課 事業内容：本県が平成17年度に行ったチャレンジ支援事業について広報するとともに、実施した事業の成果を共有した。（講演、県民提案事業成果発表、チャレンジサイトのPR） 市町男女共同参画担当者の参加のもと女性のチャレンジ支援策の必要性などを再認識することにより、今後、市町におけるチャレンジ支援の取組が期待される。
3. 事業の成果および今後の課題	1 事業全体の成果 (1) 具体的な連携の成果 構成機関の行政目的は異なっても、共同戦略で連携しようとする気運が高まってきた。 構成機関の協力を得ることにより、これまでよりも事業企画の幅が広がった。 講座等関連事業の相互案内やPRなどにより広報が強化された。 (2) チャレンジ支援事業による成果 ITによるワンストップ情報提供やロールモデルの紹介が簡単、かつ迅速に行えるようになった。（チャレンジしようとする気運の醸成が期待できる） 女性のチャレンジ支援講座により、チャレンジしようとする気運の醸成につながった。 県民提案事業では、企画から実施までをNPOが実施することにより、行政とNPOとの協働による施策の実施が可能となる。 (2) 今後の課題 男女共同参画センター、男女共同参画課によるコーディネート機能（能力）の強化を進める必要がある。 各種講座等の受講ニーズを的確に把握し、講座等の企画、実施するとともに、構成機関が実施する講座等への円滑な橋渡し。
4. 備考	女性のチャレンジ支援関連事業 ・県情報誌「G-NETしが」年2回発行 各30,000部 各号の特集テーマ「応援します 女性のチャレンジ」 「始めてみませんか あなたのチャレンジ」 ・TV番組の制作、放映、ビデオ作成 平成18年3月 30分番組2回 テーマ：「なりたい私になる！～チャレンジする滋賀の女性たち～」 ・ラジオ放送 平成17年6月、平成18年2月 7:30～15:00 ・女性のチャレンジ支援IT講座
5. 担当部課等	(所在地) 滋賀県大津市京町四丁目1-1 (部課名) 滋賀県政策調整部男女共同参画課 (担当者) 大橋

チャレンジネットワーク整備・推進事業 全体像

目的

チャレンジしたいと考える女性が、総合的な情報等を得ることができるよう、チャレンジを支援する関係機関のネットワークを図る。

期待される効果

「女性のチャレンジは、男性の元気、社会の元気」起業、社会貢献、まちづくりなど様々な分野において、地域の活性化が期待される。

各部局との連携のもと、情報のワンストップ化が図れる。

多様な分野における女性の人材の育成により、女性の施策・方針決定等への参加の促進が期待される。（ベンチマークの推進）

平成17年度の全体像

男女共同参画センター（拠点）、男女共同参画課が事務局として機能し、全体をコーディネート

ワーキンググループ（庁内連携）

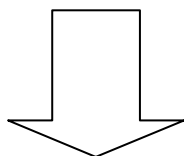
チャレンジ支援事業について
（ネットワーク機関の選定など）
次年度予算編成に向けた情報
交換等について



女性のチャレンジ支援連絡会議

チャレンジ支援に関わる情報交換
チャレンジサイト検討
今後の連携に向けて

労働局、21世紀職業財団、雇用・
能力開発機構、産業支援プラザ、
商工会議所連合会、商工会連合会、
中小企業団体中央会、農協中央会、
農業技術振興センター、
淡海文化振興財団、県社協



- ・ 総合的、体系的な情報の提供
- ・ 事業の実施で連携、協力

事業内容

チャレンジサイトしがの立ち上げ（男女共同参画センター）

女性のチャレンジ支援講座（男女共同参画センター）

男女共同参画県民提案事業（男女共同参画課）

女性のチャレンジ支援フォーラム（男女共同参画センター）

チャレンジシンポジウムの開催（男女共同参画課）

滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議構成機関

滋賀労働局職業安定部職業安定課
財団法人 21世紀職業財団 滋賀事務所
独立行政法人雇用・能力開発機構 滋賀センター
財団法人 滋賀県産業支援プラザ
滋賀県商工会議所連合会
滋賀県商工会連合会
滋賀県中小企業団体中央会
滋賀県農業協同組合中央会
滋賀県農業技術振興センター
財団法人 淡海文化振興財団
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会
滋賀県立男女共同参画センター

（参考）庁内ワーキンググループ参加課（担当職員に兼務、併任発令）

自治振興課、県民文化課、健康福祉政策課、健康推進課、元気長寿福祉課
子ども家庭課、商業観光振興課、労政能力開発課、農業経営課
（教委）学校教育課、（教委）生涯学習課

事業の経過

	ワーキンググループ、女性のチャレンジ支援連絡会議	関連事業等	
4月			
5月	ワーキンググループ(連絡会議の選定、チャレンジサイトの検討)	男女共同参画県民提案事業 女性のチャレンジ支援講座(5月～9月、6回)	
6月		募集期間(50日間)	
7月		一次審査(書面審査) 二次審査(公開プレゼンテーション審査)	
8月	連絡会議(チャレンジ支援の趣旨説明、情報交換)		
9月		チャレンジシンポジウム2005滋賀	
10月	ワーキンググループ(次年度予算編成にあたって情報交換)		委託期間(6ヶ月間)
11月			
12月			
1月	連絡会議(チャレンジサイトの検討、今後の連携について意見交換)		
2月		女性のチャレンジ支援フォーラム	
3月		チャレンジサイトの開設	

女性のチャレンジ支援講座の実施

開催日	実施内容等
5月20日	第1回『地域や社会の活性化は、女性のチャレンジから！』 連携機関：- 事業内容：講師（有）キャップス 代表取締役 清水 智子さん 社会情勢を知るとともに、この変化の時代に女性のマネージメントの能力を生かす女性のチャレンジの時代の到来を知り、身の丈ビジネスについて学ぶ。
6月17日	第2回『コミュニティービジネスへの道「子育て支援活動」』 連携機関：（財）滋賀県産業支援プラザ、滋賀県商工会連合会、滋賀県農業協同組合中央会 事業内容：子育て分野における様々な活動のあり方について学ぶ。（ミニシンポジウム形式） パネラー： グループ活動「子育ていきいきくらぶ森のくまさん」 辻田 純子さん NPO法人「NPO法人保育サービスドリーム」 田島麻佐子さん コミュニティー・ビジネス「マイママ・セラピー」 押栗 泰代さん 助言者：（財）滋賀県産業支援プラザ チャレンジショップ同時開催（7店舗）、滋賀県産業支援プラザから コミュニティー・ビジネスについての説明があった。
7月8日	第3回『税と社会保険に強くなるウラワザ』 連携機関：（財）21世紀職業財団 事業内容：講師自身のチャレンジの経験を含め、講演を行った。 講師（財）21世紀職業財団滋賀事務所 雇用管理アドバイザー 社会保険労務士 柳崎 光枝さん
7月22日	第4回『商と農のコラボ！～商店街や地域の活性化を目指して～』 連携機関：滋賀県商工会連合会、蒲生町商工会、滋賀県農業技術振興センター、東近江地域振興局農産普及課 事業内容：観光を核とした地域づくりでの有限会社化、地元農産物の商品化、農業分野での起業の3事例から商業と農業分野での起業について学ぶ。（ミニシンポジウム形式） パネラー：（有）ほのぼの館 代表取締役 高木茂子さん 蒲生町商工会女性部「特産品あかねの会」 代表 大澤洋子さん 観光イチゴ農園「グラス・ホッパー」 中村身江さん 助言者：滋賀県農業技術振興センター
8月19日	第5回『自らの課題やニーズを行動に！』 連携機関：- 事業内容：有限会社を設立し、さらにNPOを支援するNPO法人を立ち上げた講師を招き、活動実績、ノウハウからNPOへの道を考えました。 講師 NPO法人 ヒューマンサポート協会 代表理事 黄瀬紀美子さん
9月9日	第6回『私にできることって？』 連携機関：- 事業内容：適職を探すために自己分析し、はじめの一步を踏み出すために必要なことを学ぶ。 講師（有）キャップス 代表取締役 清水 智子さん